

早石田封じ

x
a
b
y

角戦法！

著

Level 8

絵
やくもせん

X A B Y K A K U

早石田封じ
xaby角戦法！

レベル8

はじめに

あ、この戦法おもしろそうー。

これなら、いい本が書けるような気がするー。

私はこれまで、「好奇心」ひとつで、研究の範囲を広げてきました。

ところがなかには、とても使いモノにならない研究や、

ため息をついて、デスクトップの「ごみ箱」へ……、そんな失敗作もあります。
実を言うと、この戦法もそのひとつです。

しかし、自分の予想以上の成果が得られたこともあって、

「せっかくだから、本にしちゃおう」と、再び引っ張り出されたのが本書です。

改めて、こんにちは。レベル8です。

本当にこの怪しげな本を手にとっていただきありがとうございます。

そもそも「x a b y（ザビー）角」って何？という人も多いでしょう。

その質問にお答えするなら、x a b yとは「人のハンドルネーム」です。

ではその「x a b y」とは誰か。それはニコニコ動画の元「生主」です。

x a b yさんは石田流が得意な、強い方でした。

ですが、本書で紹介する**この戦法だけは、天敵ともいうべき、苦手にしていたのです。**

仲間うちでは「x a b yさんにはこの戦法を使えば勝てるぞ！」と、感染するように広がりました。

それが「x a b y角」と呼ばれ、密かに親しまれていたわけです。

内輪の話ですが、妙にこの「ザビーカク」という響きが耳に焼き付いていたこともあって、そのまま戦法に名づけています。

では、準備はよろしいでしょうか。

石田一刀流に天敵と言わしめたこの戦法――。あなたに伝授します。

はじめに

2

1章

x a b y 角にまつわる 3 つの誤解

13

2章

先手居飛車とその対策

27

3章

勝率 61% 意外と勝てる x a b y 角

47

おわりに・絵あとがき

60

序章

基本図まで



基本図まで

【第1図は▲7五歩まで】



■ 初手からの指手

▲ 7六歩 □ 3四歩 ▲ 7五歩 (第1図)

きっとあなたは、もうすでにさまざまな石田対策に関する本をお読みになっているでしょう。

それでも苦手意識をお持ちで、

本書を手にとっていたいただいたのだろうと思います。

確かに、石田流はとつきづらく、いかにも序盤から場を支配されているように感じます。

もともと私は「なんでも右玉党」でしたから、その空気に巻き込まれる人の心はよく分かります。

大丈夫です。

だからこそ、本書を書きました。

■ 第1図以下の指手

△ 8八角成 (第2図)

まずは、後手から角交換に持ち込みます。

冒頭から突然ですが、第2図で戦法の成立を左右する「運」の分かれ道があります。

【第2図は△ 8八角成まで】



もし、先手が▲ 8八同飛とした場合は、

本書の x a b y 角に至りません。

△ 4五角 (参考A図) と打って別の将棋になり、

以下▲ 7六角 △ 4二玉 ▲ 3八銀 △ 5四角……。

手順を挙げれば、一冊の本に収まりきれないほどの展開があるでしょう。

【参考A図は△ 4五角まで】



■ 第2図以下の指手

■ 8八同銀（第3図）

でも、安心してください。現実的には、

■ 8八同飛が占める割合は10%ほどしかありません。

なぜなら、誰も x a b y 角のことなど予測しないからです。

第3図では本来であれば□2二銀（参考B図）などを指すべきところ、ここで x a b y 角が出ます。

【第3図は▲8八同銀まで】



【参考B図は□2二銀まで】



■ 第3図以下の指手

△5四角 (基本図)

本格派のブーイングを呼ぶ△5四角。

これが、「x a b y角」の正体となります。



不思議な印象を受けるかもしれませんが、もともとネットなど一部のところで「裏技」として知られている手です。

△5四角の狙いはたったひとつ。

「飛車を振らせない」です。

非常にバカバカしい……、と思われるでしょう。

こんな情景を想像してみてください。

利き手でない方で字を書いてみたら、上手く書けない。慣れない仕事に取り組んだら、作業が遅くなるでしょう。

私たちの脳は、慣れきった考え、染み付いた感覚を急に切り替えるのはとても苦手です。

つまり、x a b y角を打つことで、**振り飛車党が居飛車を指さざるをえない状況**を作ったわけです。

ちなみに、あるアプリで△5四角の局面を解析したところ、「先手+211」「これは互角です」と、判断を下しました。

スコアは妥当なものでしょう。



しかし、相手の得意戦法を封じたことに比べれば、けっして見劣りはしません。

ポジティブな視点で眺めることができます、小さな差だと気づけるようになります。

実際、ここから先は先手の方が大変です。

リードを保ち続けなければいけないのですから。

★

本書の構成について説明しておきましょう。

本書は、

第1章〜第3章の3部から構成されています。

第1章のテーマは「誤解」です。

両取り、角を追う、無理やり振り飛車にする……
といったありがちな誤解を取り上げます。

第2章では、正しく「**先手居飛車**」を学びます。
先手はどう組むべきか、後手はどう戦うべきなのか
を明らかにします。

第3章では、**実戦譜**を紹介します。
x a b y角によって相手の得意戦法から抜け出せる
ことを体感してください。

★

ポイント

－200点の差は、小さい。

むしろ、自分の土俵に持って行って指することができる。
それがxaby角。

[著者]

レベル8

東京都出身。1985年5月31生まれ。
2010年、東京眼鏡専門学校卒業。
右玉サイト『Level.8』の元管理人。
主な著書は、『B級戦法の切り札
風車右玉戦法!』、『誰も知らない
横歩取り3四飛戦法!』、
『つめとき デラックス30!』。



早石田封じ xaby角戦法!

2019 年 3 月 28 日 初版

2021 年 7 月 30 日 第2版

著 者 レベル8

イラスト やくもせん

キャラクター原案 織葉紗マサヒロ

将棋盤・駒デザイン 駒職人

Creative Commons 表示-非営利 2.1 日本 License.

本書は著作権法上の保護を受けています。

本書の一部または全部を転載・複写・複製することを禁じます。